令和7年度の予算の概要

「もっと輝く幸田を、みんなで」

選択と挑戦により、活力のあるまちの継続を

国内の景気は、雇用や所得環境が改善する中で緩やかに回復が続いている状況ではありますが、社会保障費や人件費の増加、生活関連物価の高騰が続いており、本町におきましては町税の収入は過去最高と見込んでいますが、今までにない厳しい財政状況におかれています。そのような中、有用な施策を選択しながら、町民の皆さんへの絶え間ないサービスを保ち、活力のあるまちの継続を目指します。

令和7年度当初予算は「もっと輝く幸田を、みんなで」をテーマに掲げて編成しました。幸田町における暮らしやすいまちづくりを引き続き進めていきます。

一般会計

一般会計予算は、町が行う事業の大部分が該当する予算です。町税や国・県などからの収入をもとにして、教育や福祉サービス、道路や施設の整備などに役立てる予算で、皆さんの生活に最も深く関わっています。

特別会計

特別会計予算は、特定の収入によって特定の事業を行うための予算です。町には、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計の4つの特別会計があります。

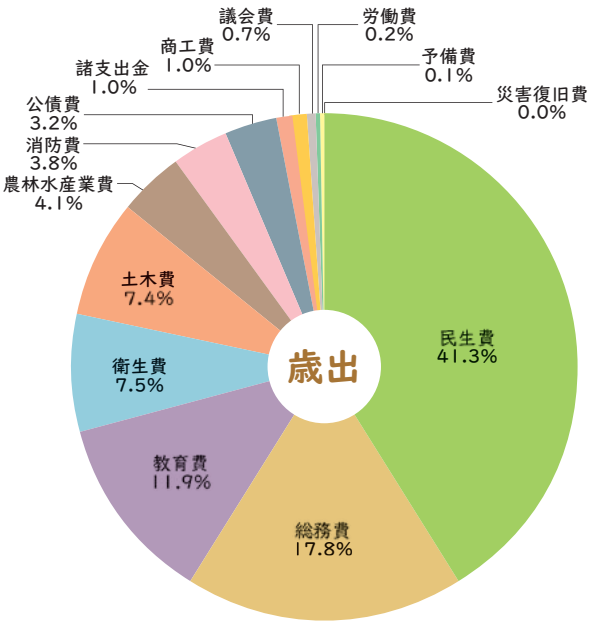
公営企業会計

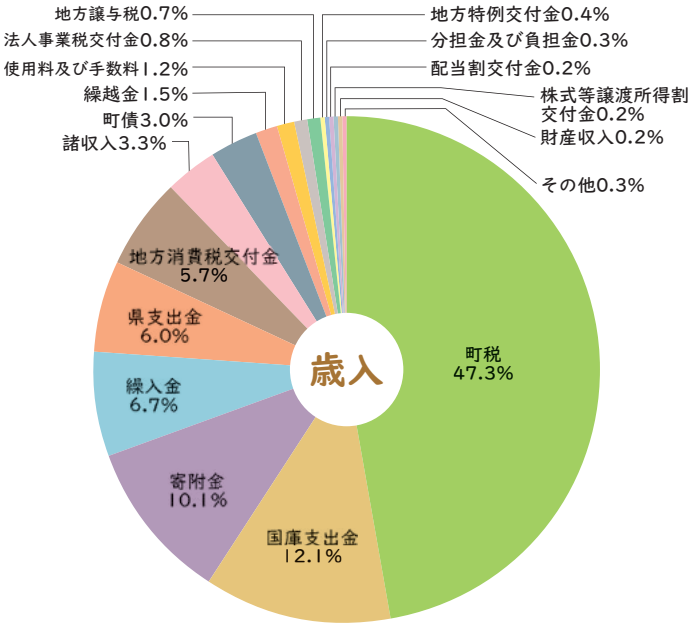
公営企業会計予算は、一般の企業と同じような方法で経理を行う予算です。公営企業は、経営によって得られた収入で事業を行っていて、町では、水道事業会計と下水道事業会計が該当します。

令和7年度当初予算

会計区分			令和7年度	令和6年度	伸び率(%)
一般会計			198億3,000万円	207億1,000万円	△4.2
特別会計	土地取得特別会計		4億263万8千円	1億3,886万5千円	189.9
	国民健康保険特別会計		32億8,452万7千円	32億5,527万1千円	0.9
	後期高齢者医療特別会計		6億9,149万1千円	6億7,686万5千円	2.2
	介護保険特別会計		26億4,821万4千円	25億5,970万8千円	3.5
公営企業会計	水道事業会計	収益的支出	8億5,357万5千円	8億2,919万3千円	2.9
		資本的支出	4億4,494万6千円	5億9,313万1千円	△25.0
	下水道事業会計	収益的支出	14億2,328万9千円	16億3,790万5千円	△13.1
		資本的支出	7億5,102万3千円	7億3,157万6千円	2.7
合計			303億2,970万3千円	311億3,251万4千円	△2.6

令和７年度一般会計
予算総額　198億3,000万円





歳出

費目別に見ると、民生費が全体の41.3%を占め、次いで総務費17.8%、教育費11.9%、衛生費7.5%となっています。民生費は大草広野地区福祉施策推進構想用地購入費、児童手当の支給拡大などにより、対前年度約10億１千万円の増額（14.1%増）。総務費はふるさと寄附業務の減などにより、対前年度約２億２千万円の減額（5.9%減）。教育費は深溝小学校増築工事、南部中学校内部改修工事が完了したことなどにより、対前年度約10億１千万円の減額（30.1%減）をしており、歳出全体では８億８千万円の減額（4.2%減）となりました。

歳入

最も大きな割合を占める町税は、対前年度5.9%増の約93億７千万円を見込みました。国庫（県）支出金は総額で約35億９千万円の交付を受ける予定です。寄附金（ふるさと納税）は、20億円を見込んでいます。高齢者生きがいセンター移転改修工事等、その他財源が不足する部分に対しては、基金（貯金）からの繰入金（取崩し）約11億３千万円を活用します。町の借金にあたる町債は、建設・土木事業などに取り組むために、約５億９千万円を借り入れる予定としました。

主な区分の内容

歳入（１年間のすべての収入）

【町税】町民税、固定資産税、軽自動車税など皆さんから納められるお金

【寄附金】町に対して無償で贈られるお金（ふるさと納税も寄附金になります。）

【国庫（県）支出金】特定の事業の財源の一部として、国（県）から町に支払われるお金

【繰入金】基金（貯金）からの取崩しや、特別会計からの繰入れをするお金

【町債】大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金（借金）

歳出（１年間のすべての支出）

【民生費】子育ての支援や医療・福祉サービスなどに使われるお金

【総務費】まちづくりの推進や町の財産の管理、町職員の給与などに使われるお金

【教育費】小・中学校やハッピネス・ヒル・幸田の運営、生涯学習講座などに使われるお金

【土木費】道路や公園づくり、土地区画整理などに使われるお金

【衛生費】ごみ処理や環境保全、予防接種や健康推進に使われるお金

【公債費】町債（借金）の返済に使われるお金

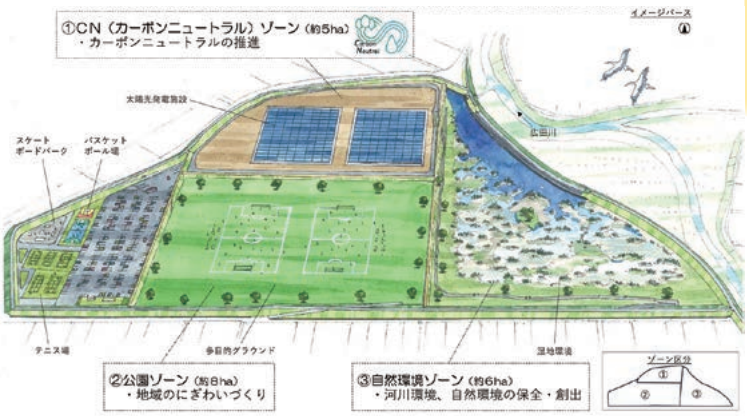
もっと輝く幸田を、みんなで

第7次 総合計画策定業務

まちづくり全般を総合的に網羅し、各種計画の最上位計画と位置付け、福祉・都市計画・環境などの個別計画をけん引するための概念・理念計画として、第7次となる総合計画を策定します。

高齢者生きがいセンター移転改修工事

高齢者が「生きがい」を持って生活を送ることができるよう、就労機会の創出、健康保持、地域交流による生きがい推進、介護予防などの場を提供するため、高齢者生きがいセンターの移転改修工事を行います。今後は、総合的な福祉施策展開を、大草広野地区にて計画していきます。



菱池遊水地 緑地運動公園 他構想調査委託業務

菱池遊水地の治水対策工事が令和８年度に完了する予定となっているため、並行してその後の整備計画を進めるための事前調査を行います。

①カーボンニュートラルゾーン
（太陽光発電施設）
②公園ゾーン
③自然環境ゾーン

に分け、有効利用を図っていきます。

～選択と挑戦により、活力のあるまちの継続を～

集出荷等対策支援事業

世界規模での温暖化問題や燃料価格高騰、人件費および輸送コストの増加をはじめ、多大な問題を抱えている中、農産物の集荷場内での品質低下を抑え、品質保持をしながら出荷するための施設整備の取り組みなどを支援します。

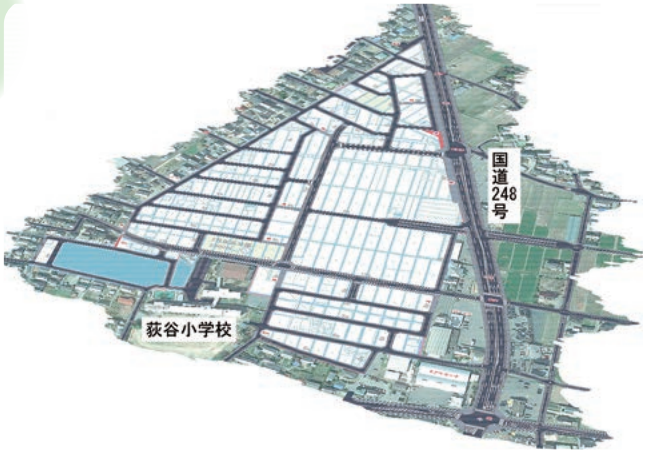
在宅子育て応援金給付事業

常時在宅で子育てを行う家庭を経済的に支援します。

３歳児（年少）から５歳児（年長）（満６歳になった後の最初の３月31日）までの児童で、保育園などに在園していない児童を養育している家庭に月3,000円を給付します。

土地区画整理調査（荻谷）

荻谷小学校の北側周辺を区域とし、これまで地域や関係機関との協議を重ねてきた荻谷地区の土地区画整理事業について、今年度中の事業認可および組合設立するための業務委託を実施します。



問合せ　財政課 財政グループ　☎(0564)62-1111(内線324)　FAX(0564)63-5139